

津山市として暴力団排除条例

の制定が必要

緑風会 木下健二



質問↓岡山県は

「岡山県暴力団排除条例」を今年四月一日より施行した。このことは、暴力団の活動を支援し、

談合事件などの防止に役立っていくと思う。これから県内の市町村においても条例制定の機運が高まっていくと思うが、津山市においてはどのような対応をされるのか。

市長↓四月の岡山県市長会においても県警から条例制定の要請もあり、津山市も条例制定が必要と考えている。時期については九月議会に条例を提出するよう、関係部局に指示している。

質問↓東日本大震災から三ヶ月が経ったが、災害の少ないこの美作地域においても「想定外」を考慮した防災計画を追加するべきではないか。

総務部長↓ダム管理についてはそれぞれのダム管理者が行っており、緊急時の連絡体制の確立、ダム管理者の万全な維持管理対策、地域防災計画の見直しを今後ともダム管理者と連携、調整を図り、検討したい。

合併後、人口四千数百人減少、

どう食い止める

新政クラブ 津本憲一

質問↓津山市における人口減少の原因は、働く場所が少ないこと。早期に企業誘致を行うため、東京事務所の開設を。

答弁↓優遇策と教育機関、商業施設の充実した都市としてアピールし、人口増加に繋げるよう全力で行い、東京事務所は検討したい。

質問↓田田淵邸は購入十五年を経過、城西地区の休息の場としては。

答弁↓現存、保存、改修、部分的な保存などいくつかのケースでその真相等を検討しており、後期実施計画に事業提案していきたい。

質問↓徳守神社の神輿、山車の展示館を。

答弁↓関係町内会、団体等の意見を聞きながら、展示館の必要性を含めた調査、検討を進めていきたい。

質問↓西寺町の神社仏閣をお寺巡り観光にしてはどうか。

答弁↓受け入れ体制の整備など課題はあるが、今年度観光ホームページの中で観光コースを掲載していきたい。



質問↓市役所における身体障害者のノーマライゼー

ションの現状と今後の取り組みは。

答弁↓現在、一般事務職の採用試験においては、特別な障害者枠では行っていない。

津山の人口を増やすためには、

何が必要なのか

津山新星会議 小椋 多



質問↓人口を増やすための施策をどのように考えているか。

答弁↓子育て支援、雇用対策、企業誘致、定住促進など創意工夫を凝らしながら、

全力で取り組んでいく。

質問↓スポーツ施設の管理状況は。

答弁↓体育館、野球場、グラウンドなど三十一の市有施設と三県有施設を管理。そのうち五施設に職員を配置し、すべての施設管理を行っている。

質問↓維持管理作業の委託状況は。

答弁↓基本的には直営、二施設は指定管理、設備保守は民間事業者、草刈りなど環境整備は地元自治会やシルバー人材センターに委託。

質問↓学校施設の耐震化について。

答弁↓改修の緊急度の高い学校施設は四月一日現在九校十九棟。東日本大震災を受けて学校施設の安全性を確保する事は極めて重要と認識している。平成二十六年までの出来るだけ早い時期に緊急度の高い小中学校の耐震化を目指して対応していきたい。